

項目		説明
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	高齢多発性骨髄腫患者における治療選択および治療継続性の検討
	研究対象者	多発性骨髄腫と診断された 70 歳以上の患者さんのうち、2012 年 04 月から 2024 年 12 月の間に神奈川県立がんセンターで化学療法を受けられた方
	研究目的	一般の方に分かりやすいように 200～300 文字程度を目安に記載して下さい。 多発性骨髄腫（MM）は新規薬剤、特に CD38 抗体製剤が初回治療に導入されたことにより、長期予後が期待できるようになりました。しかしながら、高齢者機能評価等を用いた治療層別化はまだ十分に確立していません。さらに、今般、より強力な 4 剤レジメンが上市されたことで、さらなる治療成績の向上が期待される一方、高齢患者への適用に際しては、十分なりスク・ベネフィットの評価が必要になると考えられます。本研究は、当院の実臨床における高齢 MM 患者の背景因子、治療選択の状況、予後を後方視的に検討することにより、高齢患者における各治療の有用性を解析し、今後の 4 剤レジメン時代の治療選択基準を制定する上での基礎データにすることを目的とします。
	研究方法	試料・情報の取得の方法も含めて記載してください 診療録より患者基本データ、治療内容および副作用の発現状況、治療経過や予後に関するデータを抽出することにより、実臨床における高齢 MM 患者の治療選択の状況を後方視的に検討します。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	2 0 2 5 年 4 月 2 8 日 ～ 西 暦 2 0 2 8 年 1 2 月 3 1 日
	利用又は提供を開始する時期	[X]総長が研究実施を許可した日 [] 西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[] 試料:	[] 血漿、[] 血清、[] 全血、[] 末梢血から抽出した DNA、 [] 病理検体(具体的に記載: _____)、 [] 尿、[] 糞便、[] 唾液、[] 胸水、[] 腹水、[] 脳脊髄液、 [] 毛髪、[] その他(具体的に記載: _____)
	[X] 情報:	[X] 診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X] 年齢、[] 生年月日、[X] 性別、[X] 既往歴、[X] 併存疾患、[] 外来日・入院日・退院日、[X] 臨床検査値、[X] 放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[X] 臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[] ゲノムデータ、[] 看護記録、[] その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	所属・氏名 血液・腫瘍内科 高橋 寛行
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口		施設名・所属・氏名・連絡先 神奈川県立がんセンター 血液・腫瘍内科 高橋寛行 〒241-8515 神奈川県横浜市旭区中尾 2-3-2 Tel: 045-520-2222 利用停止のお申し出は 2025 年 07 月 31 日までお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります